

NOSAIの技術情報



No. 6

平成19年2月7日
神奈川県農業共済組合

農業者が現場で手軽に使える病害虫図鑑を発刊

神奈川県農業共済組合とJA神奈川県中央会は、このほど施設野菜の被害を未然に防止するための一助として、「神奈川の施設園芸とキュウリ、トマト、イチゴの病害虫図鑑」を発刊しました。

当組合では、組合員にいつ起きかわからない災害から農業を守り農業経営の安定に寄与するために、病害虫情報や生産技術情報等を提供して損害の未然防止や被害の軽減対策の支援を行っており、その一環として作成しました。

図鑑は、A4判、28ページの冊子で県内の主要野菜であるキュウリ、トマト、イチゴに発生する主な病害虫48種類を掲載し、すべてカラー写真付で138枚におさめ、農業者が病害虫を的確に診断できるように特徴を被害の様子や発生生態、その対策に分け新しい情報や防除技術を取り入れ、きわめてわかりやすく解説しています。

農業者が現場で必要に応じて手軽に病害虫の診断が正しく行えるのが特徴です。巻末には神奈川県の施設園芸の変遷と、園芸施設共済の加入推進を掲載しています。農業経営にはさまざまな「まさか」が起きますが、この病害虫図鑑の利活用により危機管理に役立てて頂きたいです。

NOSAIでは今後、園芸施設共済加入農家を始め、新たな共済資源獲得のための推進資料として配付していく予定です。

